

寒さに負けず、3学期スタート

かぎりなく 降る雪 何をもたらずや さいとう さんき
西東 三鬼

これは、昭和 10 年代頃から戦後にかけて新興俳句運動の中心となって活躍した俳人西東三鬼の俳句です。心理的な表現法で、降る雪に対して想いを込めて、作句しています。いよいよ冬将軍が到来です。かぎりなく降る雪は、私たちに何をもたらししてくれるのでしょうか？雪と向き合い、雪によって生じる生活環境や状況の中で、子どもたちの安全をどう守り、育てていくか。活動を工夫し克服していく力をどうつけていくか。様々な課題を与えられているようです。

新学期が始まって、3週間が過ぎました。雪道の登下校時、子どもたちは「おはようございます」「さようなら」と地域や防犯パトロールの皆様と互いに朝夕の挨拶をかわしています。挨拶によって明るい日々が繰り返されています。子どもたちは、寒さにも負けず、縄跳びやボール運動、鉄棒、外での雪遊び、学習や諸活動などに意欲的に取り組んでいます。

この時期は、寒さにより体調をくずし、風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎等にかかりやすくなります。これらに対する予防法が今、話題となっています。雪に負けない健康な体づくりや安全な対策が必要です。学校では、うがい手洗いの励行、教室の換気、人混みのある場所への外出は避ける、夜更かしはしないなど健康・衛生面の指導を行っています。ノロウイルス予防対策として、糸魚川市は、給食の調理法が変わり、献立が2週間ほど変更されます。

冒頭の俳句に呼応するように、今冬も、降雪、積雪による雪崩や落雪、危険箇所などの安全点検を実施して、安全な登下校、放課後や休日の安全な過ごし方についても引き続き指導して参ります。今学期は、51日と短い学期ではありますが、次の学年への基礎固めとなる大切な時期です。家庭や地域においても、子どもの健康・衛生・安全対策等をよろしく願います。

(校長 小野 雅子)

